



### ◆修学旅行の発見！

77期修学旅行(沖縄・石垣島方面)が終了しました。学年集会・結団式でも、学年通信・しおりの巻頭言でも、“見ようと思えば見えてくるもの”がたくさんある、発見に満ちた修学旅行に、自分自身でしてほしい——と呼びかけました。みなさんがどんな気付きや発見をしたのか、どんなことを感じたのか——それを知るのをとても楽しみにしていたので、事後アンケートに項目立てしたところ、本当に多くの回答を寄せてくれました。あれこれ述べてみようと思ったのですが、みなさんの発見こそこの行事の最大の成果と考え、出来るだけ紹介することで総括に代えます。たくさんの発見、本当に楽しく読みました！

\*12/15 22:30 現在の回答を反映。文章は読みやすいよう編集を加えています

### ◆石垣島・八重山諸島編

沖縄本島と石垣島がとても離れているということを実感した／沖縄の海は大阪と違ってエメラルドグリーンのような色で底が見えるぐらい澄んでいた／グラスボートでウミガメを見つけた！／シュノーケリングで沖縄の海の魚をいろいろ発見できた／海がとてもきれいで、大阪とは植生が全然違うということを実感した／石垣島の畜産は仔牛の生産がメインらしい／土が赤かった(赤土)／ゲンキくんというキャラクターがいた／お墓のデザインが違う／ソーキそばと沖縄そばの違い／ソーキそばの方は軟骨付き

### ◆西表島編

西表島にイリオモテヤマネコがたくさんいるわけでない／イリオモテヤマネコは警戒心が強く夜行性／イリオモテヤマネコは見られなかった／地面に凸凹がある箇所はイリオモテヤマネコの縄張りがある→音で車が走っている

ことを知らせて飛び出すのを防ぐためらしい／マングローブの種類や、どのように成長するのかを知った／マングローブは酸素を沢山だす／マングローブは木の名前ではなかった／マングローブは特定の数種の樹木の総称／西表島のマングローブの7割はヤエヤマヒルギとオヒルギ／マングローブの種は地面に刺さるために細い形で、大きい／マングローブの根っこがすごい複雑／船の景色のほとんどがマングローブだった。西表島ではマングローブは本当に山ほどあるのだなと思った／マングローブにカニがたくさんついていること、沼地のハゼがふぐの仲間で毒を持っていることを知った／仲間川の泥地にカニがたくさんいた／西表島のカヌーで干潟を歩いたときに砂に穴がたくさん空いてそれがカニの食べかすだと聞いて驚いた。その穴から泡がでて掘ったらヤドカリやカニ、シャコが出てきてシャコは初めて見たので見られてよかった／砂に人がめっちゃ沈む／干潟の上で足を小刻みに動かすと液状化みたいなのが起って足が沈む／どの植物も、葉っぱが大きい／普段見られなかったり、検索しても見つからない生き物も見つけられてとてもワクワクした／島に信号がひとつしかない！子ども達が都会に出て使い方がわかるように、いらないけど設置しているらしい／西表島では中学校までしかなく、高校に入るためには島を出て1人で寮に泊まらないといけないことに驚いた／とにかく人口が少ないため、さとうきびの収穫の時はバスの運転手だろうが駆り出される／西表島の役場(竹富町役場)は石垣島(石垣市)にあるらしい／西表島のさとうきびから取れる黒糖は皇室に献上されるお菓子に使用されている／カムリワシを見ることができた／絶滅危惧種と言われても、想像よりも

数が多いこともあるらしい／由布島に亜熱帯の植物がたくさんあって自然豊かだった

### ◆竹富島編

沖縄独自の飲み物は味が薄い。沖縄料理は味が濃いものが多いのでそのようになったらしい。地元のおばあちゃん談／カラスに一度襲われると直ちに応援カラスが来る。実体験談／竹富島の油そばは全然辛い／高層の建物がなく、平屋根の家が広がっていた／竹富島で琉球石灰岩が使われている石垣をたくさん見られた／シーサーが家の門や屋根の上など至るところにおかれている／屋根が赤茶色の瓦だった／シーサーは、置く位置に決まりがある／竹富島のお墓はすごく大きい／意外と広くて、人が少なくて、植物と動物がワイルド／コンクリートの道がとても少ない／竹富島では、小学校が一つしかなくて子ども達がとても少なかったし、高校もないから高校進学きっかけに人が竹富島から離れていくのではないかと思った／竹富島に高校がないから島民の人は中学生で1人立ちする／入島料（300円）を呼びかけていたので、人が少なくなって納められる税金が少なくなり、島の財政が厳しくなっているのではと思った／水牛は賢くて、引っ張っている荷台が自分の体に当たらないように自分で調整できる／完全に放牧の牛がいた。柵もなく横を通るのにすごく勇気が必要だった／牛は寝転んだら死ぬ可能性は高いけど水牛は寝転んでも大丈夫らしい／星砂浜では本当に星の形をした砂がたくさんあった！／竹富島を回るならサイクリングの方が回りやすい／西栈橋で見つけたヤドカリが可愛かった／西栈橋の先の方に行きすぎると海に落ちる

### ◆黒島編

サンゴの大切さとウミガメの重要性／島が全部琉球石灰岩でできている／牛が島民の10倍以上いる／ヤドカリは触ったらダメ／ウミガメの放流を通じて海洋生物の研究方法について

知った／黒島研究所で、ウミガメの種類や、その他の海の生物のことについて知った／黒島研究所ではウミガメを少しの間育てて放流し、次出会った時にどれぐらいの期間でどのくらい成長したのかを調べている／ウミガメの見分け方は、赤ウミガメは蟹などの甲殻類を食べるので頭が大きい、青ウミガメは海藻を食べるので頭が小さい。タイマイは珊瑚礁と珊瑚礁の間にできたスポンジを食べるので口の先がとんがっている／基本的に日本で出てくるウミガメの多くは青ウミガメ。例えば浦島太郎のいじめられているカメや TDL のタートルトークのカメなどなど。一番多い産卵場所は和歌山／カメは食べても美味しい。タイマイだけ毒を含むスポンジを食べているので、人間が食べるとかなりの確率で死ぬらしい／黒島研究所には島の漂着物なども展示しており、ロケットやミサイルの一部がある。前者は黒島研究所内にあり触れる。後者は黒島内に置いてある。大きすぎて施設の中に運べなかったそう／八重山ミンサーの模様の意味を知った（そのことに注目してみると建物の外壁やタペストリー・お土産のパッケージなど幅広く用いられていることに気付けた）／黒島でパイナップルみたいな木の実を発見したよ！アダンっていうらしい！／行った時は見つけれなかったが、黒島には牛の他に野生の孔雀もいるそう／黒島では黒糖が特産品で、黒糖のアイスがあった

### ◆こんな発見もありました！

点字ブロックが赤紫色／クラブメッドのトイレのハンドルに一度に流れる水の量（大 10L、小 8L）と書いてあり、節水への取り組みとして効果的だなと印象に残った／クラブメッド全然日本語でいけた／O 西先生のラップがうまい／「おーりとーり」と「めんそーれ」は二度と間違えない／看板で「うちなー」の文字を何回か見て、意味を知った／出会い、関わる人全員がすごく優しく素敵だった

◆臘月に独り興ず——菅原道真

玄冬律迫正堪嗟	玄冬律迫めて正に嗟くに堪へたり
還喜向春不敢除	還りては喜が春に向なむとして敢へて除なりむることを
欲尽寒光休幾処	尽きなむとする寒光幾はくの処にか休はむ
将来暖气宿谁家	来りなむとする暖气誰が家にか宿らむ
氷封水面聞無浪	氷は水面を封して聞くに浪なし
雪点林頭見有花	雪は林頭に点して見るに花有り
可恨未知勤学业	恨むべし学业に勤むことを知らずして
書齋窓下過年華	書齋の窓の下に年華を過べせむことを

『菅原文章』…『日本古典文学大系 72』岩波書店、1966年

「臘月」とは旧暦の12月。道真14歳の作。年の暮れに、また一年が過ぎゆくことを嘆きつつも、それは春遠からじということでもある。尽き果てつつある冬の冷たい光は、あと何か所で留まるのだろうか？やってくる春の暖気は、どこに腰を据えるのだろうか？外を眺めても、景色は冬そのもの。こんなふうには、成さねばならない学業に打ち込むこともせず、机から眺める外の景色に耽っているのはダメなのだが——。

机に向かっているものの、SNSの通知が来たり、調べたいことがあってスマホを手にしてから、そのまま気付けば動画を見てしまっている。本当はこんな感じではダメなんだけど——と、(道真に比べて、かなり卑近な例になってしまいますが…)自分の姿が重なってしまう人はいませんか？

12/22午後～1/8、学校の授業が止まっている18日間は、ここまでの“インプット”を“整理＝アウトプット”して定着させる期間です。

知識の整理が必要だという話は、12/14(木)の学年集会でも示されていました。道明寺天満宮の学業成就の鉛筆には「あせらず、たゆまず、おこたらず」の言葉。共に暮らす人との時間も大切にしながら、自分のやりたいことに使う時間も大切にしながら——だからこそ、1日の中で、どの時間枠を学習に割り当てるのか、12月の、1月の、いつまでにどこまでの内容に取り組むのか、時間枠を考えてコンスタントに学習を進めていきましょう。平常の授業期間中の学習時間は、70分授業×5限+自主学習90分=440分(7.5時間)。冬休み期間中、この学習時間をどのようにコントロールしながら取り組むのか。今のうちに実践しておけば、3年夏に焦らずに済みます。3年夏に、長時間の勉強にどう向かうのか(時間をどう使いこなせばいいのか)——そこからの着手となってしまっている、身に付く実力も半減します。「受験勉強はまだでもいい。しかし、学習の習慣は身に付けておかなければ」という話は、10/5(木)の科目選択説明会で示されていました。「3年になってから初めてそれをやりますか？2年から出来ることは、2年のうちに始めておきませんか？」ということです。

12月の10日間、1月の8日間をどう使うか——冬休みに入るにあたり、その枠組みを具体的に描きましょう。

◆当面の予定

12/22(金) A金4・5+大掃除+全校集会  
23(土) GLHS 京大キャンパスガイド  
1/9(火) 午前：授業 (B火1～3)

午後：ベーシックテスト (国・数)

11(木)LHR 英語・冬休み宿題テスト  
13・14(土・日) 2024年度共通テスト (3年)  
15(月) 2024 共通テストリサーチ実施 (3年)  
19(金) 2024 共通テストリサーチ返却 (3年)  
18(木)LHR 進路⑦ (志望理由書その1)

\*大学の募集要項を準備すること

19(金)午後：英検2級受験  
23(火)午後：河合塾 高2共通テスト模試①  
24(水) 河合塾 高2共通テスト模試②

【 国 語 】

▶現代文探究

錬成現代文 19～21  
\*冬休み明け初回の授業で提出

▶古典探究

生野ベーシック 暗唱プリント(漢文句法、  
古文敬語・識別、漢文重要用字)

【 英 語 】

▶英語R

- ・構文 150 45～59 (すべて大問2まで)
- ・Rのクラスルームで提出すること。期限や方法もRのクラスルームで確認すること。

▶英語W

- ・Factbook Workbook Mastery Unit9, 10
- ・Wの宿題は自学ノートに解いてRのクラスルームの解答を見て○付けをして、最初の授業で提出すること。

- ・以下は冬休み宿題テストの範囲です。  
Vintage とシス単の提出は求めませんが、各自で学習しておくこと

<範囲>

- ・R構文 150 45～59 (すべて大問2まで)
- ・Vintage 問題番号 526-671
- ・シス単 単語番号 501-1200
- ・Factbook Workbook Mastery Unit9, 10

【 数 学 】

- ・チャート式「基礎からの数学Ⅱ+B」より「図形と方程式」・「三角関数」から30題(なお、比較的難問は避けているので、志ある者は、避けた問題を含めれば59題)  
→詳細は授業時に配付されるプリント参照のこと。
- ・生野ベーシックの問題を確実に解けるようにしておくこと(こちらは提出ではありません)

【 理 科 】

▶化学

<文系化学>

- ・セミナー化学基礎の全範囲の『プロセス』『ドリル』『基本例題』のみをノートに解き、1/9(月)に化学講義室前の机に提出。
- ・途中計算・考え方・ポイント整理をしっかりと書くこと。

<理数化学特論>

- ・『セミナー化学基礎』(←『セミナー化学』ではない!) P40～43、P116～119、P124～135をノートに解き、1/9(月)に化学講義室前の机に提出。
- ・途中計算・考え方・ポイント整理をしっかりと書くこと。

▶生物 (ともに詳細は別紙で連絡)

<文系生物>

- ・セミナー、演習プリント、後期中間考査の解き直し。記述も丁寧に取り組むこと

<理数生物特論>

- ・予習、セミナー、後期中間考査の解き直し等

【 情 報 】

- ・Life is Tech ! Lesson の共通テスト模試を未受験の人は、問題と解説を見ておくこと。
- \*1/23・24の河合塾模試で情報Iがあります。
- \*12/14(木)学年集会で、Pスタディ(ベネッセ)の運用開始が冬休みと伝えましたが、1/23・24の河合塾模試後の誤りでした。それまではLife is Tech ! を活用してください。

【 進路指導部 】

- ・第一志望の大学の募集要項(2024年度入試用:現3年生用)を用意しておくこと。資料請求冊子で取り寄せる、または大学Webページ上にあるものを印刷するなど、必ず“紙媒体”で用意しておく。
- ・大学・学部紹介パンフレットもあると良い。
- ・1/18(木)と1/25(木)のLHRで使用します。